

第4回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 入賞者決定

兵庫県 NIE 推進協議会は、県内外の小学校・中学校・高等学校から寄せられた計 941 編の応募作品の中から、最優秀賞を各 1 編、優秀賞各 1 編、佳作各 1 編を選定しました。なお、小学校については優秀賞および佳作の該当はありませんでした。

募集期間 2026年1月9日～4月30日

対象 県内外の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒

応募総数 941 編／小学校 2 編（2 校）、中学校 403 編（3 校）、高校 536 編（4 校）

【最優秀賞】

小学校 **愛媛大学教育学部附属小学校3年 若狭 早 さん**

タイトル：わたしの推しは、「見えない『香り』に出会う」です！

掲載記事：読売 KODOMO 新聞 2025年10月23日付

見出し：伝説の香りつくり出す かけらを加熱 成分判明

中学校 **尼崎市立南武庫之荘中学校3年 新垣 凜佳 さん**

タイトル：わたしの推しは、「光る海の城」です！

掲載記事：神戸新聞 2025年9月24日付夕刊

見出し：子どもへの賛歌 高らかに 「光る海の城」歌い継ぎ 45 年

高等学校 **兵庫県立西宮高等学校3年 鱸 実柚奈 さん**

タイトル：わたしの推しは、「繋ぎたい命」です！

掲載記事：朝日新聞 2026年3月28日付朝刊

見出し：産科偏在 施設外分娩への備え 救急救命士ら介助や新生児の蘇生を訓練

【優秀賞】

小学校 該当なし

中学校 **尼崎市立南武庫之荘中学校3年 中山 杏奈 さん**

タイトル：わたしの推しは、「湾生の人々」です！

掲載記事：朝日新聞 2025年11月6日付夕刊

見出し：きのこの山は恋しい台湾の味 「湾生」の開発者が語る戦中・戦後

高等学校 **愛徳学園高等学校2年 金澤 有花 さん**

タイトル：わたしの推しは、「AI 時代をどう生きるか、何が求められるのか」です！

掲載記事：日本経済新聞 2025年12月8日付朝刊

見出し：AI 時代の雇用「求む！哲学専攻」 「倫理」関連職 5 年で 6 倍

【佳作】

小学校 該当なし

中学校 **西宮市立浜脇中学校2年 松本 京花 さん**

タイトル：わたしの推しは、「麦わらストロー」です！

掲載記事：読売中高生新聞 2026年3月13日付

見出し：読売中高SDGs新聞 ライ麦のわら ストローに

高等学校 **兵庫県立有馬高等学校3年 福井 碧斗 さん**

タイトル：わたしの推しは、「被災時に大活躍の非常用発電機」です！

掲載記事：神戸新聞 2026年3月12日付朝刊

見出し：被災地を支えた非常用発電機 川重製、原発事故現地対策本部で稼働

【選考基準と受賞理由】

第4回「わたしの推し記事」コンクールの選考にあたっては、「推し記事」を選ぶ着眼点の鋭さ、記事そのものの魅力が伝わってくる文章力、その記事のことを人々に伝えたいという理由や願いの内容が明確で人々の心に響くものであること、の3点を基準としました。

小学校の部・最優秀賞は、正倉院宝物の蘭奢待(らんじゃたい)の香りを分析・再現したという記事を取り上げました。「名香」ということばをこの記事ではじめて知ったという筆者は、天下の名香として蘭奢待が今日まで残ってきたことに驚き、蘭奢待を分析する「科学の力」とにおいを感じる調香師の「人の力」によって、見えない「香り」に出会えることにロマンを感じ、多くの人にそのすごさを伝えたいと願っています。

中学生の部・最優秀賞は、やなせたかし作詞、いずみたく作曲の楽曲「光る海の城」が今も神戸・ポートアイランドの学校で歌い継がれているという記事を取り上げました。1981年の「神戸ポートピア博覧会」に合わせて作られたこの歌が45年近くたった今も歌い継がれていることを記事によって知った筆者は、歴史や昔の人々の生き方考え方を知り、現在、未来へと結び付けていくことの大切さを訴えています。

高校の部・最優秀賞は、少子化によって産科が減り偏在化する日本で、安全・安心なお産環境を整えるために訓練を重ねる救急救命士らの記事を推しています。自身も助産師を目指す筆者は、この記事きっかけに医療環境に関する課題に気づき、家族の体験も重ね合わせながら考察を深め、すべての命が安心して迎えられる社会を支える一員になりたいという自分の決意を説得力のある筆致で語っています。

人に「推したい」という思いをもって記事を読むと、お気に入りの記事のもつ「力」をより理解することができ、自分の表現力も磨かれます。これからも「推し記事」を選んで、語ってみましょう。